



6月の園だより

R.2 大川保育園

紫陽花がきれいに色づき始める季節となりました。

新型コロナウイルス感染症予防対策として、保護者の皆様には家庭保育や保育時間短縮、登降園時の受け入れ態勢など、ご協力有難うございます。

全国で緊急事態宣言が解除となり少しずつではありますが、保育園もいつもの姿に戻りつつあります。ひさしぶりの友だちとの再会を喜び、楽しそうに遊ぶ姿、会話する姿、時にはケンカする姿を見ていると“やっぱり保育園はこうでないと！！”と思ってしまう。

六月は“水無月(みなづき)”とも言います。梅雨なのに水が無い、というのは不思議ですが、この場合“無”は無いという意味ではなく“の”という意味合いで使われているようです。六月は“水の月”として、水(雨)について考える月にし、どうしても室内での活動が多くなる時期になるので、園でも色々と工夫をして子どもたちが体を動かせる環境を作っていく、楽しい毎日になるようにしていきたいと思います。

また新型コロナウイルスに加え、この時期から増える他の感染症や暑さ対策など、子どもたちの健康管理には十分気を付けていきたいと思います。

今後も感染予防対策として、ご不便をおかけしますが引き続き予防に努め、感染症の一日も早い終息と皆が健康で安心・安全に過ごせる日々が戻ることを願っています。

物を考える時に必要な二つの力

人間がものを考えるときには、二つの力が必要です。

1つは、言葉や論理、基本的な計算能力などの認知的スキル。

言葉と論理は人間が物を考える時のベースになるので、これは経験や日常生活の中で、きちんと育てていく必要があります。

もう1つは非認知能力。

昔の遊びで例えるなら、魚獲りのもり作りに凝ってひたすら作り続けるような集中力、今までの経験などからここで魚が獲れるはず、とひらめく直観力、魚が獲れるまで諦めない粘り強さ、一人より三人の方が上手いく、と上手に人に頼れる力、協力できる力、そして魚が獲れなくても「まあいいか」と思える楽天性、さらには失敗から学ぶ力や間違ったことをした時には素直に謝れる正直さ、わからない時には人に素直に聞ける社会的な能力です。

言葉や論理の力は、感性や社会性、創造性、対人関係能力や自制心、諦めない心といった基礎力の上に花を咲かせるのです。

だからこそ生活の中であれこれ考えたり工夫したりすることが大切になってきます。しかし今は「生活」が大きく変わり、そういう基礎力を育てる力が減っているのが現状です。

子どもが生活の中で育てる力は、読み書きや計算といった認知力だけではなく、認知力ではないけれどそのベースにある確かな力、つまり非認知の能力です。その能力の一つを「社会情動的スキル」とも呼びますが、そのスキルは訓練すれば、ちゃんと伸びて身につく能力なのです。

だからこそ、できるだけ子ども自身が考えたり工夫したりする機会を与え、手を出すことを我慢して必要な時だけ支える。そのようなことを大切にし、私たち保育士は子どもたちと向き合い、保護者の皆様と共に子どもたちの育ちを支えていきたいと思います。

△△▽▽▽△▽△△△△△

▽ **頭もよくなる カミカミカミ**

人は、1回の食事で平均 300 回そしゃくするそうですが、柔らかい食べ物が多くなると、かむ回数が減ってきます。かむことは消化を助けるだけでなく、脳への刺激にもなるのです！ きちんと歯をみがき、繊維の多い食物をよくかんで食べるのが健康につながります。歯を大切に、今日もカミ、カミ、カミ！

6月の予定

9日(火) 防災訓練

13日(土)・17日(水)・20日(土)
保育参加 **中止**

19日(金) 誕生会

※4月・5月生まれの子
と一緒に!

